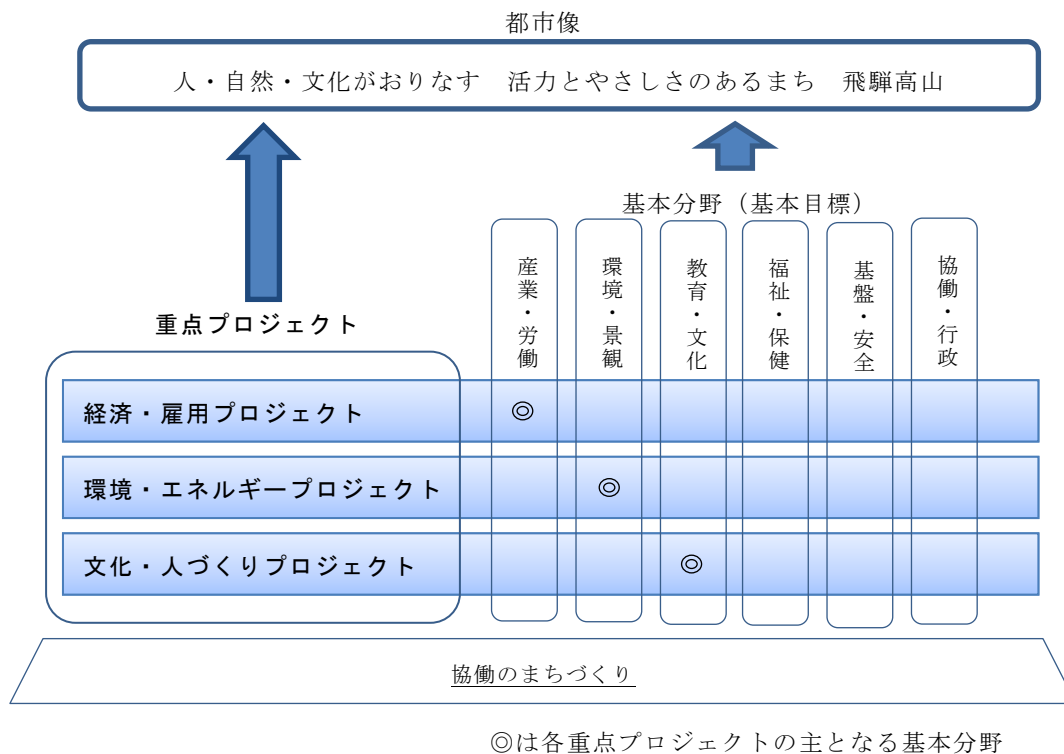


1. 重点プロジェクト

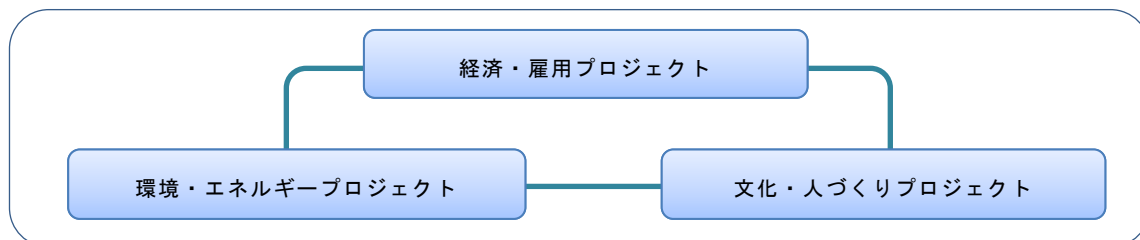
都市像の実現に向けた歩みをより着実なものとするため、これまでも積極的に取り組んできた市政運営に重要な3本柱である「景気」・「環境」・「文化」をキーワードに、「経済・雇用プロジェクト」、「環境・エネルギープロジェクト」、「文化・人づくりプロジェクト」を重点プロジェクトとして位置付け、限られた行政資源を効率的かつ効果的に活用します。

重点プロジェクトは、主となる基本分野において中心的に取り組むとともに、分野の枠組みを超えた横断的な視点のもと、各分野で取り組む関連施策を有機的に連携させることで、より大きな相乗効果を発揮することをねらいとしています。

また、推進にあたっては、共通の目標に向けて多様な主体とともに力を合わせる「協働のまちづくり」の考えに基づいて取り組みます。



さらに、3つの重点プロジェクトは個々に推進するだけでなく、相互に連携させながらより効果的に推進していきます。



(1) 経済・雇用プロジェクト

市民が、性別や年代に関わらず、生きがいを持って働き、将来にわたり住み慣れた地域で安心して安定した生活を送るためには、持続可能な経済基盤を形成することが重要です。

経済環境の変化に柔軟に対応しつつ、豊かな地域資源の活用や産業間の連携などによって産業全体を活性化させ、地域の雇用創出につなげていく「経済・雇用プロジェクト」を積極的に推進します。

推進にあたっては、基幹産業である観光業を中心に商工業、農林畜産業など産業間の連携による取り組みをすすめるとともに、誘客の促進や地域の強みを活かした新たな産業の創出、新たな製品の開発・高付加価値化、販路の拡大など市外に出るお金と市内に入るお金の差を黒字にする仕組みづくり、市内で資金が循環する仕組みづくり、地域での雇用の創出に取り組みます。

○主な取り組み

産業間連携の推進

(産業・労働)

- ◇ 観光業を中心とした産業間の連携強化による市内産業の活性化
- ◇ 観光・商工業と農林畜産業の連携などによる国内外への誘客活動や宣伝・販売促進活動の推進

誘客の促進

(産業・労働)

- ◇ まちづくり会社等と協働したイベントの開催などによる魅力ある観光地づくりの推進
- ◇ 観光大学や観光ゼミの開催、郷土教育などによるおもてなしのこころの醸成
- ◇ J R 高山本線・高速バス路線・地域公共交通路線等の2次交通の強化や着地型ツアーの造成支援などによるハブ観光地化の推進
- ◇ 昇龍道や北陸飛騨3つ星街道等の広域的な連携などによる魅力のある観光エリア・周遊ルートの形成
- ◇ コンベンションやスポーツ大会の開催への支援などによる国内外のM I C E (マイス) の推進
- ◇ トップセールスや海外旅行博への出展、海外メディア・旅行関連事業者等への情報発信、国内の各国政府機関・企業等へのP R、日本政府観光局や県との連携などによる外国人観光客の宣伝・誘客活動の推進

第2章 重点プロジェクト

○主な取り組み（つづき）

◇ 外国人観光客向け公衆無線LANサービスの提供などによる受入体制の強化
(福祉・保健)

◇ 民間事業者のユニバーサルデザインに配慮した取り組みの促進や歩車共存型
道路の整備などによる誰にもやさしいまちづくりの推進
(基盤・安全)

◇ 古い町並境界における車両進入制限の実施などによる快適な歩行空間の創出

◇ 観光客向け緊急指定避難場所の指定や応援協定締結ホテル・バス事業者等との
連携などによる観光客避難誘導體制の確立

◇ 公共交通（航空、鉄道、バス）の乗り継ぎの円滑化の促進などによる交通アク
セスの向上

新たな産業の創出

(産業・労働)

◇ 空き店舗を活用したチャレンジショップなどの整備による起業家等の育成

◇ 環境・介護・医療・福祉関連分野等のものづくりにおける新分野進出への支援
などによる経営の多角化の促進

◇ 森林資源の多面的活用等への支援などによる新たな企業の立地促進

◇ 木質バイオマス発電等の研究などによる新たな産業の創出

(環境・景観)

◇ エネルギー関連企業の立地促進や市内企業のエネルギー関連分野への進出促
進などによる地域産業の活性化

新たな製品の開発、高付加価値化

(産業・労働)

◇ 外部プロデューサー誘致への支援などによる新たな商品・サービスの開発

◇ 地域団体商標制度の活用や地域資源を活かした新商品開発への支援、メイド・
イン飛騨高山の促進などによる飛騨高山ブランドの強化

◇ 6次産業化や農畜商工・異業種連携への支援などによる新商品開発の促進

◇ 海外市場の調査・分析や海外への販売の可能性のある物産発掘などによる事業
者の販売活動への支援

(教育・文化)

◇ 文化性を備えたデザインや伝統的技術の活用などによる教育・産業等の様々な
分野における創造性の促進

(福祉・保健)

◇ 地場産業などとの連携によるユニバーサルデザインに配慮した製品開発の促
進

第2章 重点プロジェクト

○主な取り組み（つづき）

販路の拡大

（産業・労働）

- ◇ 流通経路の短縮化などに対応した卸売市場や流通拠点施設の再編整備
- ◇ アンテナショップの活用などによる地域の特産品等の販路拡大
- ◇ 農産物の流通に精通するコーディネーターや仲介機関の育成
- ◇ トップセールスや海外見本市への出展、海外メディア・輸入関連事業者等への情報発信、国内の各国政府機関・企業等へのPR、日本貿易振興機構や県との連携などによる宣伝・販売促進活動の推進

（基盤・安全）

- ◇ 道の駅の運営などによる道路情報や観光情報等の発信機能・休憩機能・販売機能の強化

資金循環の促進

（産業・労働）

- ◇ 産学金官の連携強化や地産地消の促進による地域内資金循環の活性化
- ◇ 農業者と食品事業者の連携強化や学校給食等への地域産品の活用などによる地産地消の推進
- ◇ 資金融資や保証料補給などによる商店経営・企業経営の支援

雇用の促進

（産業・労働）

- ◇ 事業所等の新設・増移設や新たな常雇用への支援などによる企業の立地促進
- ◇ 景気の動向を踏まえた迅速な雇用対策の実施などによる雇用機会の確保
- ◇ UIJターン就職する若者への支援や雇用に積極的な事業者への支援、高等教育機関との連携強化などによる若者の地元定着の促進

（教育・文化）

- ◇ 職業体験や企業経営者の講話などによるキャリア教育の充実

（福祉・保健）

- ◇ 職業紹介やシルバー人材センターへの支援などによる高齢者の技術や経験の活用促進

(2) 環境・エネルギープロジェクト

市民が、豊かな自然環境の中で、これからもその恵みを享受しながら暮らしていくためには、自然との調和のとれた健全な関係を保っていくことが重要です。

また、その豊かな自然を様々な形でエネルギーとして活用することなどにより、地域内のエネルギー自給率を高めていく必要があります。

先人から受け継いだ自然環境を守り、さらに次の世代にしっかりと引き継ぐとともに、自然が生み出すエネルギーなど多様な恵みを有効に活用していく「環境・エネルギープロジェクト」を積極的に推進します。

推進にあたっては、自然との関わり方に十分配慮し、適切な自然環境の保全・活用や自然エネルギーの活用をすすめるとともに、低炭素社会の形成、循環型社会の形成に取り組みます。

○主な取り組み

自然環境の保全

(産業・労働)

- ◇ 人里周辺の森林整備や木材の利用などによる美しい里山の保全
- ◇ 化学肥料・化学合成農薬の低減や有機肥料の活用、廃棄物の適正処理などによる環境保全効果の高い営農活動の推進

(環境・景観)

- ◇ いのちの森づくり等の在来種を活かした緑化や特定外来生物の駆除などによるその土地本来の生物多様性の保全・再生

(基盤・安全)

- ◇ 水源地周辺及びかん養機能を有する山林などの保全の推進

(教育・文化)

- ◇ 美しいふるさと認証制度などによる郷土愛の醸成や保護活動の促進

自然環境の活用

(産業・労働)

- ◇ 広葉樹材生産の促進や自然との触れ合いの場としての活用などによる里山の多様な利用の推進
- ◇ 広大な市域における地域資源の活用や四季を通じた観光イベントの開催などによるニューツーリズム・山岳観光・教育旅行等の多様な旅行形態の創出

第2章 重点プロジェクト

○主な取り組み（つづき）

（環境・景観）

- ◇ 国立公園・県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産・ジオパーク・ユネスコエコパークの取り組み、環境保全と観光振興についての議論の場の設置などによる自然公園等の保全と利用の推進

（基盤・安全）

- ◇ 自然や歴史的な街道、街道沿いの農山村集落など地域に残る良好な景観の保全・活用

（教育・文化）

- ◇ 越中街道や平湯街道等の整備などによる歴史的な街道や街道沿いの農山村集落の保存・活用の推進

自然エネルギーの活用

（産業・労働）

- ◇ 農業用水路への小水力発電設備の設置などによる自然エネルギーを活用した特色ある農山村地域づくりの推進
- ◇ 木質バイオマス・太陽光・水力等の自然エネルギー活用への支援などによる企業経営の効率化

（環境・景観）

- ◇ 太陽光発電・太陽熱利用・小水力発電・地熱発電の導入や木質バイオマス利用の拡大などによる自然エネルギー活用の推進
- ◇ 自然エネルギーを活かしたコミュニティやモデルエリアづくり、観光分野・農業分野での自然エネルギーの活用などによる特色ある地域づくりの推進
- ◇ 産学官連携による自然エネルギーを活用した「飛騨高山モデル（市民参画の仕組み）」の構築
- ◇ 防災拠点や防犯灯・街路灯への自然エネルギーの導入などによる安全・安心なまちづくりの推進

（教育・文化）

- ◇ 自然エネルギーの活用や木材使用などによる環境や安全性に配慮した学校施設などの整備

（基盤・安全）

- ◇ 間伐の実施や木質バイオマス等への利用促進などによる豊かな森林資源の整備・活用
- ◇ 自然エネルギーの活用等の周知や啓発などによる住宅の省エネルギー化の促進

第2章 重点プロジェクト

○主な取り組み（つづき）

低炭素社会の形成

（環境・景観）

- ◇ エコドライブやエコオフィス、省エネルギー機器への切り替えなどによる省エネルギー活動の推進
- ◇ 林業と建設業の異業種連携や自治体と連携した森づくりなどによる温室効果ガス吸収対策の推進

（基盤・安全）

- ◇ 地域公共交通の利用や低公害車両の導入促進、自転車の利用促進などによる環境負荷の低減

（協働・行政）

- ◇ 公共施設等総合管理計画に基づく施設の適正配置や活用、長寿命化・効率化・省エネルギー化などによる総合的かつ計画的な管理の推進

循環型社会の形成

（産業・労働）

- ◇ 耕種農家等への堆肥利用の促進や家畜排泄物の発電・熱利用の研究などによる資源循環型畜産業の推進

（環境・景観）

- ◇ 新たなごみ焼却施設の整備や埋立跡地の活用、ごみ焼却熱等の有効利用などによるごみ処理施設と周辺環境の整備
- ◇ 小型家電等の分別収集や集団資源回収の奨励、リサイクル認定製品の積極的使用、グリーン購入制度に基づく物品等の調達促進などによる再生利用の推進

（基盤・安全）

- ◇ 汚水処理で発生する汚泥の有効活用や処理施設周辺の環境保全の推進

(3) 文化・人づくりプロジェクト

市民が、心豊かに充実した生活を送るためには、郷土に誇りや愛着を感じ、明日への夢や希望を抱きながら、日々の生きざまそのものである文化を高めることが大切です。

また、地域や産業をはじめ、あらゆる分野における人づくりは、将来に向けたまちづくりをすすめるための最も基本となる重要な取り組みです。

生きがいを持って住み続けたいと思えるまちづくりに向け、文化力の向上とともに、豊かな心や知識、高い能力を身に付けた人材を育てていく「文化・人づくりプロジェクト」を積極的に推進します。

推進にあたっては、高山らしさの保存・継承・活用や文化芸術の薫るまちづくりをすすめるとともに、地域や産業を支える人づくり、将来を担う子どもを生み育てやすい環境づくりに取り組みます。

○主な取り組み

文化の保存・継承・活用

(産業・労働)

- ◇ 飛騨ねぎ・あぶらえ等の地域に根付いた伝統的な農産物の生産振興や食文化の情報発信

(環境・景観)

- ◇ 旧森邸の整備や回遊性を高める憩いの場の整備などによる歴史的風致の維持向上
- ◇ 重要伝統的建造物群保存地区・市街地景観保存区域内の建造物の修理・修景に対する支援や伝統構法木造建築物の耐震化の促進などによる歴史的町並みの保全

(基盤・安全)

- ◇ 伝統構法木造建築物等に関する市民への情報発信や建築関係団体等への講習会の実施などによる伝統的な建築技術の継承

(教育・文化)

- ◇ 美しいふるさと認証制度などによる郷土愛の醸成や保護活動の促進
- ◇ 「高山祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取り組みなどによる伝統文化についての意識の向上
- ◇ 歴史文化遺産の価値の調査などによる新たな地域資源としての評価・活用
- ◇ 伝統的建造物及びその周辺の環境の調査・再評価による重要伝統的建造物群保存地区拡大の推進

○主な取り組み（つづき）

文化芸術の薫るまちづくり

（教育・文化）

- ◇ 飛騨高山文化芸術祭の開催などによる市民が主役の文化芸術の創造・振興の促進
- ◇ 文化会館等の文化施設の整備などによる文化芸術活動の場の充実
- ◇ 伝統文化に対する意識の醸成や失われつつある伝統的な文化芸術を復興する取り組みなどによる文化芸術の保存・継承

（基盤・安全）

- ◇ 地域に配慮したデザインの導入などによる周囲と調和した道路景観の創出

地域や産業を支える人づくり

（産業・労働）

- ◇ 飛騨の匠の心と技を今に受け継ぐ飛騨高山の名匠認定制度などによる伝統産業の振興
- ◇ 伝統産業に関する郷土学習などによる次代を担う子どもたちの意識の醸成

（環境・景観）

- ◇ 大工・左官等の技能者の育成などによる伝統工法等の景観保全技術の継承の促進

（教育・文化）

- ◇ 郷土学習講座の開催や市民憲章の理念の具現化を図る活動の促進などによる郷土の歴史や文化等について学ぶ機会の充実
- ◇ 地域の人材の活用などによる地域の発展を目指した郷土学習の充実
- ◇ 本市固有の風習等の生活文化の継承などによる地域の誇りと愛着の醸成
- ◇ 歴史ガイドマスターを活用した研修などによる郷土の歴史・文化の語り部の育成

（福祉・保健）

- ◇ 人材登録制度の創設などによる高齢者の経験や能力を活かす体制づくりの推進

（基盤・安全）

- ◇ 景観町並保存連合会と協働した意識啓発や児童生徒の郷土学習などによる景観保全に対する意識の醸成

（協働・行政）

- ◇ 国内外の姉妹・友好都市等との教育・文化・芸術・産業など様々な分野における交流や新たな都市間交流の推進
- ◇ 実践活動者を招いての講座や意見交換会などによる地域活動や市民活動を支える人材の育成

第2章 重点プロジェクト

○主な取り組み（つづき）

子どもを生き育てやすい環境づくり

（産業・労働）

- ◇ 事業所内保育施設への支援や病児保育の実施などによる子育てと就労が両立できる環境整備の推進

（教育・文化）

- ◇ 保健・福祉・教育の連携などによる子どもの成長過程に応じた切れ目のない支援体制の充実
- ◇ サテライトキャンパスの設置などによる大学誘致に向けた取り組みの推進
- ◇ 子ども教育参画会議や子ども教育地域連携協議会との連携による地域の支援体制の充実

（福祉・保健）

- ◇ 福祉サービス総合相談支援センターの設置などによる児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などあらゆる市民の生涯にわたる切れ目のない総合的な相談支援体制の充実
- ◇ 飛騨地域の自治体が連携した結婚相談所の設置や結婚支援イベントの実施などによる結婚支援の推進
- ◇ 特定不妊治療にかかる費用や借り入れ時の利子への支援などによる出産を望む夫婦の経済的負担の軽減
- ◇ 保育士の処遇改善や有資格者の登録などによる保育士の確保、家庭児童相談体制の充実などによる子育て不安の解消
- ◇ 児童手当の支給や子ども医療費に対する助成、保育料軽減などによる子育て世帯の経済的負担の軽減
- ◇ 中核病院における医療施設・機器の整備や病院内保育所の運営への支援などによる医療確保のための環境整備の推進
- ◇ 県・医療系大学・県内病院との情報共有や育成活動、登録制度などによる医療従事者の確保

（基盤・安全）

- ◇ 地域の見守り活動や子ども110番の推進、防犯ブザーの配付などによる子どもの安全確保

（協働・行政）

- ◇ 様々な媒体を活用した啓発や事業所への講師派遣などによるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境の整備